

中津地域実質化された京力農場プラン

市町村名	地域名 (該当集落名)		当初作成年月	更新年月
宮津市	栗田	中津	令和5年3月	

1 対象地区の現状

a 地区内の耕地面積	16.90 ha
b アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	12.00 ha
c 地区内における <u>80歳以上</u> の農業者の耕作面積の合計	1.02 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.00 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.02 ha
d 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
e 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
(備考)	
dは、5年以内に引受意向のある面積	

2 対象地区の課題

課題
対象集落の耕地のうち保全管理や耕作放棄などの未耕作面積が約5haあり、さらに他集落農家による隣接農地の荒廃化も拡大してきている。今後、高齢化・後継者不足による耕作困難農地及び放棄地の増加、隣接耕作農地への雑草侵入や病虫害の伝播が心配されており、それに伴いさらに耕作維持困難農地の増加が危惧されている。
アンケートでは専業農家や後継者が確定している経営体は僅かで、現状では第2種兼業農家や他産業からの定年帰農者により農業を維持している状況で、さらに集落内農家が高齢化・減少していく中では農道・水路等農業基盤の施設管理面について、地域全体で考えていく必要がある。
耕作放棄を未然に防ぐ機動的な営農組織や他集落との連携を強化した鳥獣被害対策、さらには近隣通作者の確保や企業参入による面的な維持管理が必要

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中核的担い手と営農組織を中心に農地集約による農地利用の効率化を進める。